

第 4 3 期事業計画書

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

東明興業株式会社

1. 経営環境と経営目標（第43期）

2017年「米国第一主義」アメリカ・ファーストを唱えてトランプ政権が誕生し、雇用の創出を基軸としたTPP離脱等の貿易保護政策と大胆な減税やインフラ投資、規制緩和の経済政策等において「戦後で最も不安定な政治環境」とも言われ世界は流動的な状況です。

一方、国内では2013年の消費税率アップ前の駆け込み需要で冷え込んでいた住宅、ビル等の民需がマイナス金利により復調の兆しを見せているものの、首都圏の建廃処理業者はオリンピック決定以降、低迷が続いています。原因は建設業界の恒久的な人手不足と施工費の高騰による選別受注や工事の見直し延期等が挙げられますが、本年秋頃より一斉に繁忙期がくると言われています。又、本年度は廃棄物処理法の改正も検討されておりその対応力が急務となります。こうした状況の中、弊社では「第43期事業計画」を戦略的に策定しました。

品質につきましては顧客の要望事項を基に戦略的な営業とサービスを提供します。永年継続している情報開示の「見える化」に加え「保管・選別ヤードの状況」をホームページに公開しました。又、昨年まで埋立処分していたロックウールのリサイクルルートを新しく確立しました。更にリサイクルを推進して参ります。

環境につきましては、近隣地域に対する粉塵・騒音対策として拡張した保管施設ヤードの運用管理、石綿含有廃棄物の検査と選別の徹底、パリ協定に伴い現場から発生するCO₂削減、クリーン発電原料供給のご提案を積極的に実施し、年度末にはグループ内で第3期6メガの太陽光発電を加え、都合10メガのクリーン電力を供給します。

安全につきましては安全基本行動、一人KY、指差呼称の基本三原則を厳守します。工場業務の事故リスクの軽減を目的として東明企業に安全衛生委員会を設立しました。又、解体工事業が建設業の許可業種となり、コンプライアンスや情報漏洩防止対策の強化、解体工種別の安全パトロールを実施します。ストレスチェック、社員の道德教育にも積極的に取り組んで参ります。

第43期も適正で高品質な環境と安全に配慮した信頼されるサービスを継続して参ります。

2. 経営基本方針

“いっしょに守ろう”

きれいな地球・たのしい職場・みんなの利益

- (1)経営の目的・目標（品質評価・環境影響評価・労働安全衛生リスク評価）を戦略的に特定し、コンプライアンス（法遵守）の厳守と「品質・環境・安全について」の重点事項を実施し、信頼される透明性の高い経営を実施します。
- (2)適正処理を担保する情報開示「処理の見える化」に、品目別数量及び月々の保管状況、石綿含有産業廃棄物返却量等更に正確・確実な情報を提供します。
- (3)近隣地域との調和を図り、工場施設の運用管理を強化し環境負荷を低減するとともに CO2 削減、クリーン発電原料供給の提案、継続的な消費電力の低減とクリーン電力供給を増強します。
- (4)支社安全衛生委員会の強化、工場及び解体工種別安全パトロールの推進、車両別指差し呼称、KY活動、ヒヤリハット運動に加え重大な労働災害防止及びメンタル・ストレスチェックを実施します。
- (5)全社員、協力業者へのモラル・マナー教育、専門知識、人材教育を強化し世代交代を見据えた、人材配置と幹部候補生を育成します。

産業廃棄物 運搬・受入・搬出量年間計画(H29年度)

(単位 m^3)

廃棄物の種類		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
廃プラスチック類	運搬・受入量	3,064	3,060	3,088	3,098	3,273	3,273	3,313	3,313	3,610	2,862	3,502	3,603	39,058
	搬出量	993	992	1,001	1,004	1,061	1,061	1,074	1,074	1,170	928	1,135	1,168	12,664
紙くず	運搬・受入量	988	987	996	999	1,055	1,055	1,068	1,068	1,164	923	1,129	1,162	12,596
	搬出量	956	954	963	966	1,021	1,021	1,033	1,033	1,126	893	1,092	1,124	12,183
木くず	運搬・受入量	2,863	2,859	2,886	2,895	3,058	3,058	3,096	3,096	3,373	2,674	3,272	3,367	36,497
	搬出量	3,786	3,781	3,815	3,827	4,043	4,043	4,093	4,093	4,459	3,536	4,326	4,451	48,255
繊維くず	運搬・受入量	8	8	8	8	8	8	8	8	9	7	9	9	100
	搬出量	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	6
金属くず	運搬・受入量	793	792	799	802	847	847	858	858	934	741	906	932	10,109
	搬出量	2,497	2,493	2,516	2,524	2,667	2,667	2,700	2,700	2,941	2,332	2,853	2,936	31,826
ガラスくず・ コンクリートくず 及び陶磁器くず	運搬・受入量	763	762	769	772	815	815	825	825	899	713	872	898	9,731
	搬出量	157	157	158	159	168	168	170	170	185	147	180	185	2,004
廃石膏ボード	運搬・受入量	1,255	1,254	1,265	1,269	1,341	1,341	1,357	1,357	1,479	1,173	1,435	1,476	16,002
	搬出量	1,475	1,473	1,486	1,491	1,575	1,575	1,595	1,595	1,737	1,378	1,685	1,734	18,799
がれき類	運搬・受入量	2,481	2,478	2,501	2,508	2,650	2,650	2,683	2,683	2,923	2,317	2,835	2,917	31,625
	搬出量	2,008	2,005	2,024	2,030	2,145	2,145	2,171	2,171	2,365	1,876	2,295	2,361	25,596
混合廃棄物	運搬・受入量	8,978	8,966	9,049	9,077	9,590	9,590	9,708	9,708	10,576	8,386	10,261	10,557	114,446
	搬出量	2,971	2,967	2,995	3,004	3,174	3,174	3,213	3,213	3,500	2,775	3,396	3,494	37,877
積替保管		11	11	11	11	11	11	11	11	12	10	12	12	135
合 計	運搬・受入量	21,205	21,177	21,372	21,438	22,649	22,649	22,929	22,929	24,979	19,806	24,234	24,933	270,300
	搬出量	14,843	14,824	14,961	15,006	15,854	15,854	16,050	16,050	17,486	13,865	16,964	17,453	189,210

特別管理産業廃棄物 運搬量年間計画(H29年度)

[illegible]